

# 自立循環型住宅 評価結果

■評価マニュアル：自立循環型住宅への設計ガイドライン

■評価ソフト：自立循環型住宅 評価ソフト Ver.1.8

■評価者：江藤真理子

## 1-1 建物概要

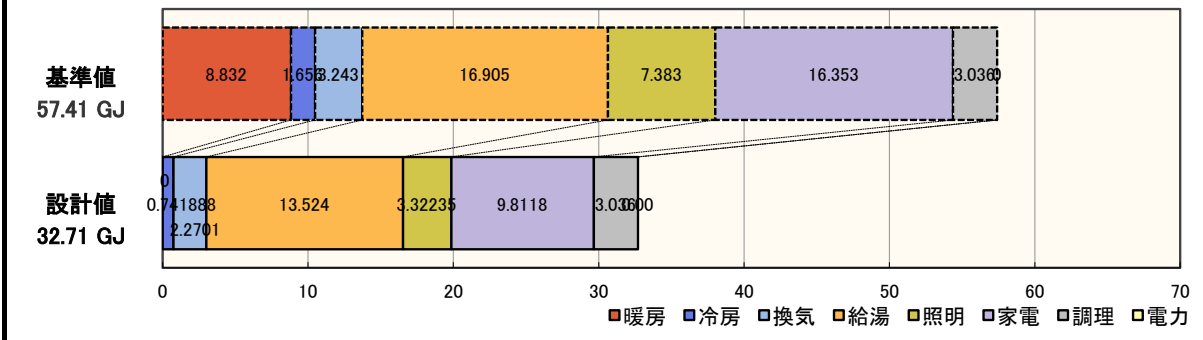
■建物名称	M邸
■竣工年月	2011/9/27
■建設地	福岡県糸島市
■気候区分	IV地域 比較的暖かい地域
■敷地面積	201.61㎡
■延床面積	76.55㎡
■家族構成	2人(夫婦)
■暖房方式	部分間欠暖冷房

## 1-2 建物写真



## 2-1 省エネルギー性能 (GJ)

エネルギー削減率 43.03 %



## 2-2 経済性能

単純償却年数 21.67 年

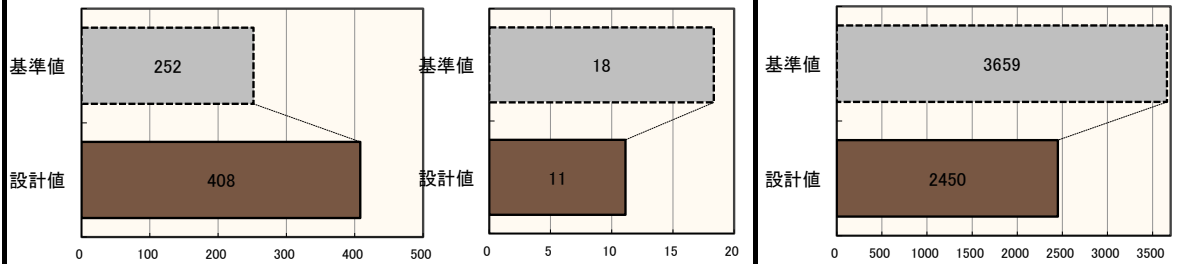
## 2-3 環境性能

33.04 %

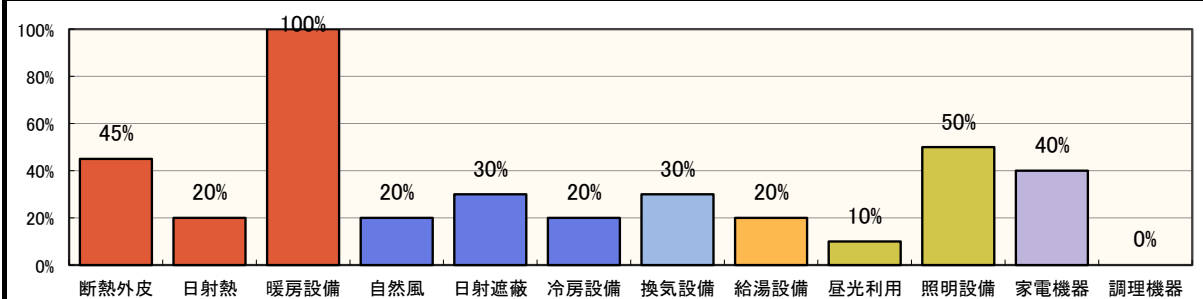
イニシャルコスト 156.3万円 増

ランニングコスト 7.2万円/年 減

CO2削減量 1209kg-CO2/年 増



## 2-4 各項目の削減率



## 3 設計上の配慮事項

1.暖房	断熱外皮計画	Q値:2.33 C値:0.6/㎡ N値:1.4
	日射熱の利用	集熱開口部面積16.50㎡、有効開口面積13.2㎡、床面積に対して15.9%
	暖房設備計画	薪ストーブのみ使用
2.冷房	自然風の利用	卓越風向を考慮した通風計画
	日射遮蔽手法	庇、袖壁、ハニカムサーモスクリーン、(夏期ゴーヤによるグリーンカーテン)
	冷房設備計画	冷房COP:4.0
3.換気	換気設備計画	パイプファンによる局所換気
4.給湯	給湯設備計画	潜熱回収型ガス給湯器、節湯型機器(台所・浴室シャワー)
5.照明	昼光利用	各居室:2面採光、洗面・浴室・便所:1面採光
	照明設備計画	一部LEDランプ使用、玄関ポーチライトセンサー式、多灯分散照明
6.家電	高効率家電機器	
7.その他(調理)	調理機器	
8.電力	太陽光発電	

※評価は自立循環型住宅への設計ガイドライン(財団法人 建築環境・省エネルギー機構)を基本に、家族構成、気候区分、暖房方式の基準値を独自に定めたものです。